

令和6年度事業報告及び附属明細書

公益財団法人日本食肉生産技術開発センターは、食肉処理及び食肉流通の近代化を図るため、食肉処理及び食肉流通の技術及び衛生水準の高度化に関する調査及び普及等を実施している。令和6年度は次のような事業を実施した。

(公益目的事業)

1. 食肉処理技術情報収集、調査及び普及事業

先進的な食肉処理技術及び食肉生産技術研究組合の研究開発成果等について普及するため、機関誌「JAMTI BULLETIN」を発行(300部)するとともに、ホームページを通じて各種情報の提供に努めた。

2. 食肉処理施設実態調査

食肉処理施設の再編整備等の参考資料とするため、食肉処理施設の経営状況、処理上の問題点と対応等についてアンケート方式で調査・分析を行い、食肉処理施設実態調査を取りまとめた。(農林水産省委託事業)

3. 食肉処理施設等へのコンサルティング事業

食肉処理施設からの委託を受け、受益者の負担による食肉処理施設再編整備計画の作成、HACCP作成等に関するコンサルティングを実施することとしているが、令和6年度は依頼実績がなかった。

4. 食肉処理及び流通に関する機械・施設の研究開発事業

食肉処理及び流通に関する機械・施設の研究開発を行っている食肉生産技術研究組合の組合員として、研究組合への情報の提供等を行ってきた。

また、研究組合から委託を受け、都道府県や食肉処理施設等関係者への研究成果発表会を令和7年2月20日に開催(ZOOM 参加者を含む103名が参加)し、食肉産業展を令和7年3月11日～14日に東京ビックサイトで開催した。(参加者:フーデックスと合計で7万余名)。

5. 中小企業経営強化税制に係る証明書発行事業

当センターは、「中小企業経営強化税制」に係る投資減税に必要な証明書発行機関として、食肉処理施設等の近代化を図るために必要な機械・施設についての証明書を本年度は5件発行した。

6. 対米輸出牛肉血斑低減フォローアップ事業(JRA 事業) (令和4年度～6年度)

本事業は、懸垂方式での放血を行う対米輸出施設において血斑が発生し大きな問題となっていることから、血斑発生率を低減するため、推進委員会(委員長:入江正和(独家畜改良センター理事長)と食肉処理施設部会(部会長:森田幸雄麻布大学教授)及び心拍数等調査分析部会(部会長:大谷新太郎酪農学園大学教授)を設置し、施設間での血斑低減の取り組みの知見の交換を行うとともに、牛に心拍計を装着しストレスと血斑発生の因果関係の調査分析等を行い、令和7年3月に血斑低減マニュアル(改訂版)を作成し全国の食肉処理施設等に配布した(500部)。また、3月にマニュアルの普及セミナーを開催した(ZOOM 参加者を含め120名)。

7. 輸出施設AW対応設備基準・マニュアル作成事業(JRA事業)(令和5年度～6年度)

本事業は、牛肉等の輸出拡大のためには輸出先国が定めるアニマルウェルフェア(以下「AW」という。)基準を順守する必要があること、今後牛肉等の輸出認定施設を拡大するためには、我が国においても益々AWの取り組みが求められていることから、食肉処理施設のAWに対応した設備の構造基準及び取り扱いマニュアルを作成することを目的とするものであり、推進委員会(委員長:小倉弘明(一社)全国肉用牛振興基金協会専務理事)及び2つの部会(牛検討部会(部会長:森田幸雄麻布大学教授)、豚検討部会(部会長:押田敏雄麻布大学名誉教授)を設置し検討を行った。

海外調査は7月28日～8月3日に豪州、9月21日～28日にカナダにおける AW に対応したけい留所等の設備基準等を調査し、報告会を7年1月28日に開催(ZOOM 参加者含む86名が参加)した。

2年間の検討の結果、AW対応設備基準・マニュアル(牛、豚各200部)及びDVD(牛、豚各400枚)を作成し全国の食肉処理施設等に配布した。また、3月に普及セミナーを開催した(ZOOM 参加者含む80名が参加)。

8. 海外ハラルと畜技術等推進調査事業(JRA事業) (令和6年度～8年度)

本事業は、牛肉の輸出拡大のためには、新たな牛肉の輸出市場として期待されるイスラム諸国への輸出拡大が鍵となっているが、輸出に当たってはハラル認証が必要という制約があることから、ブラジル、豪州等ハラル輸出に力を入れている国におけるハラルと畜技術等を調査し、今後の我が国のハラル牛肉の輸出拡大に資することを目的とし、推進委員会(委員長:森田幸雄麻布大学教授))を設置し検討を行った。

推進委員会は7月と3月に開催した。海外調査は10月19日～26日にニュージーランド、7年2月8日～16日にブラジルにおけるハラルと畜の法制度やハラルと畜方法等を調査した。

(収益事業等)

食肉処理機械等のリース事業

一般財団法人畜産環境整備機構が実施する食肉販売合理化整備リース事業の借受者として、食肉処理施設への機械・施設の貸付を実施しているが、令和6年度は実績がなかった。

(評議員会及び理事会の開催)

1. 理事会

(1) 第1回理事会: 令和6年6月6日(木)

議題

(決議事項)

- ① 令和5年度事業報告及び附属明細書の承認に関する件
- ② 令和5年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認に関する件
- ③ 令和6年度事業計画及び収支予算の変更に関する件
- ④ 評議員の選任候補者の推薦に関する件
- ⑤ 理事長及び専務理事の報酬額に関する件
- ⑥ 「令和6年度研究成果発表会開催事業」及び「2025年食肉産業展への出展事業」の業務委託契約書締結に関する件
- ⑦ 評議員会の開催の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定に関する件

(報告事項)

理事長、専務理事の職務の執行状況の報告に関する件

(2)第2回理事会:令和7年3月7日(金)

議題

(報告事項)

理事長、専務理事の職務の執行状況の報告に関する件

(決議事項)

- ① 令和7年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認に関する件
- ② 運営強化対策基金の取り崩しに関する件
- ③ 評議員会の開催の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定に関する件

2. 評議員会

(1)定時評議員会:令和6年6月25日(火)

議題

- ① 令和5年度事業報告及び附属明細書の承認に関する件
- ② 令和5年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認に関する件
- ③ 令和6年度事業計画及び収支予算の変更に関する件
- ④ 評議員の選任に関する件

(2)臨時評議員会:令和7年3月24日(月)

議題

(決議事項)

- ① 令和7年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認に関する件
- ② 運営強化対策基金の取り崩しに関する件

(評議員及び役員の異動)

(1) 評議員の異動

令和6年6月25日の評議員会において、次のように選任された。

選任:古賀 満(伊藤ハム米久ホールディングス株式会社)

辞任:金森 史浩(伊藤ハム米久ホールディングス株式会社)

(2) 理事の異動

理事の異動はなかった。

(3) 監事の異動

監事の異動はなかった。

附 属 明 細 書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。